

100年をつくる 鹿島の一翼を担う

本州四国連絡橋

JR東北縦貫線

温井ダム

東京駅丸の内駅舎

フジテレビ

東京駅八重洲口グランルーフ

新潟県新潟スタジアム「ピックスワン」

建 築

左官工



鹿島事業協同組合
(鹿島建設(株)の施工パートナー)

建 築

左官工の 魅力

伝統技巧が現代に生きる、仕上げの匠

山や河川が形つくる日本の複雑な国土。そこで人々が安全・安心に暮らすための社会基盤や生活施設を整備するのが建設業です。その多彩な仕事の中で、学校、病院、住宅やオフィスビル、店舗、スタジアムなどの生活施設を施工するのが建築工事です。

左官の歴史は古く、奈良時代宮中で働く職人に木工寮の属(さかん)として出入りを許したことに由来すると言われています。日本では、土蔵の外壁やこて絵など、その技術を芸術的領域まで昇華させた職人を多く輩出しています。

左官業は、工法の変化やプレキャストコンクリートの登場により、多様化が求められてきましたが、自然素材を有効活用することやリサイクル性が見直され、再び注目されています。





仕事

仕上げの美しさは左官の腕とセンスで決まる

左官の仕事の代表格はやはり「塗り壁」。技術とセンスと経験がものを言う仕事です。どんな素材でも思い通りに仕上げる匠の技は、まさに左官の真骨頂です。

現代の左官の仕事は多様化しています。タイル貼り、レンガ・ブロック積み、コンクリートの床仕上げなども、左官の仕事の領域となっています。



住宅 外壁・内壁を作る



駅 装飾壁の仕上げ



店舗やオフィス 装飾壁の仕上げ



学校 床や階段のコンクリートやモルタル仕上げ



文化施設 コンクリートの打ち放しや仕上げ



提供：姫路市

城や文化財 土壁を塗り漆喰で仕上げ

選ばれたプロだけが 参加できる現場がある

ものづくりは、カタチとなって残るものをつくる仕事です。

次の世代に、誇りを持って手渡せる建物をつくるのには、最強のメンバーが必要です。

最先端の建設現場に欠かせない各工程のエキスパートたち。

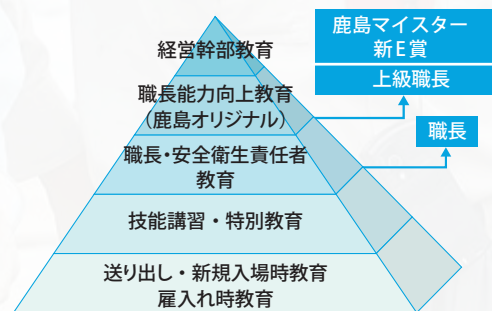
鹿島事業共同組合の構成員は、選びぬかれた鹿島の施工パートナー（協力会社）として、重要プロジェクトを成功に導きます。

あなたも、最強チームに入って、大きな夢をかなえませんか。

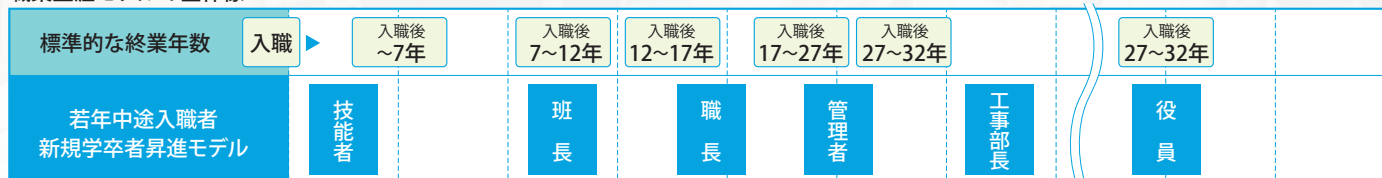
充実した教育訓練プログラム

鹿島建設と施工パートナー会社（協力会社）とは、互いに学びあう環境を重視しています。最新の技術・技能や、現場での安全管理に対するさまざまな知識やノウハウを効率的に共有し、高めて行く取り組みの一つが、教育訓練プログラムです。

新人から経営幹部に至るまで、あらゆるレベルの方々に向けたきめ細かな教育プログラムにより、継続的な施工品質と安全管理の向上を実現します。



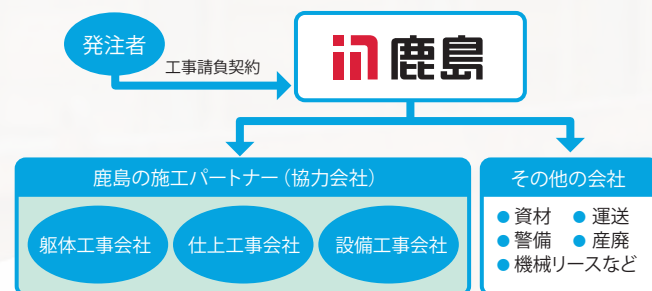
職業生涯モデルの全体像



出典：厚生労働省、雇用・能力開発機構「達人になろう！建設業人材育成モデル」

プロフェッショナル集団

建設工事には高度な技術やノウハウを必要とするため、躯体、仕上げ、設備など、各分野の専門工事業者が協力しないとプロジェクトを成功させることができません。鹿島グループは、数多くの専門工事業者から高い施工能力と安全管理を持つ会社を厳選して、施工パートナー（協会社）になっていただいています。



選ばれたプロフェッショナルだけに与えられる称号

鹿島建設株式会社は、業界最高水準となる優秀登録職長手当制度「鹿島マイスター（通称）」と、優秀技能者報奨金制度「新E賞（通称）」を制定しています。



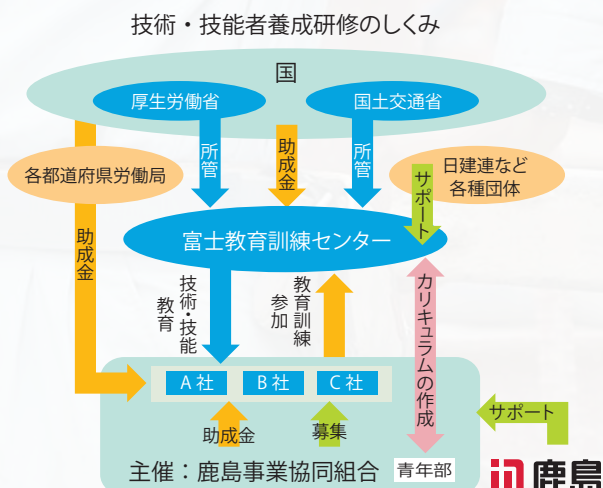
新E賞

目標：毎年約200名を認定
手当：一人当たり月額10万円の報奨金を支給
対象：次の鹿島マイスターを目指す将来有望な若手技能者



初心者も実践的に技術・技能を習得

富士教育訓練センターは、建設業界が協力して設立した建設技術者・技能者の育成施設です。約5万平方メートルの広大な敷地の中に、多数の教育訓練施設をもつ大規模なもので、鹿島事業協同組合では、2000年からこのセンターを利用して、技術・技能者養成研修を実施しています。受講料の全額が助成され、建設技術を習得することができます。



先輩達 からの メッセージ



左官工

職長
30歳

技能の高さを証明する国家検定資格は、3級、2級、1級とあり、1級になるには7年以上の経験が必要です。1級の資格を取るのは大変でしたが、達成感があり、楽しかったです。先輩に教わることが多いですが、やりがいがある仕事です。一緒に頑張りましょう。

左官工

職長
40歳

建設現場には、見ず知らずの業種の人たちが集まって、一つの建物を建て、最後には仲間になります。色々な人と出会えるのが素晴らしいと思います。みんなで後世に残る建物を作った喜びを分かち合い、左官の世界を一緒にひろげましょう！



発行

鹿島事業協同組合



物づくりの魅力について
ホームページで紹介しています。

<http://kajima-kyoren.com>

当パンフレットに関するお問合せ先